

## 一般社団法人大学コンソーシアム熊本第25回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和元年12月11日(水) 11時00分～12時20分
- 2 開催場所 熊本県立大学 本部棟2階 大会議室
- 3 出席者 代表理事(会長) 半藤 英明 熊本県立大学長  
代表理事(副会長) 幸田 亮一 熊本学園大学長  
理事 中山 峰男 崇城大学長  
理事 荒木 朋洋 東海大学九州キャンパス長  
理事 堤 裕昭 企画・運営委員会委員長  
監事 広渡 純子 九州ルーテル学院大学長  
監事 荒木 啓二郎 熊本高等専門学校長
- 欠席者 代表理事(副会長) 原田 信志 熊本大学長

### 4 開 会

#### 1) 開会

事務局から、本日の理事会に現在の理事6名中5名(監事2名出席)の出席により、定款第32条に定める定足数(理事現在数の過半数)を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

#### 2) 会長(議長)挨拶

本日の理事会は、中期計画について、その他(令和2年度の事務局運営体制、地域連携プラットフォーム(仮称)について)が主な議題であることが宣言された。

#### 3) 議事録の確認及び議事録署名人の指定

資料1の一般社団法人大学コンソーシアム熊本第24回理事会議事録に議事録署名人の署名捺印を頂いたことの確認及び報告のあと、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、本日の議事録署名人は半藤代表理事(会長)及び広渡監事、荒木監事が行う旨の報告があった。

### 5 理事会議事

#### 第1号議案 中期計画について

事務局(渡邊事務局長)より資料2に基づき、中期計画の評価に係る体制の整備について、資料3に基づき、大学コンソーシアム熊本中期計画ロードマップ、2019年度実施予定中期計画ロードマップ、また、資料4に基づき、中期計画(2019～2023年度)進捗状況報告会の開催についての説明があり、審議を行った。

審議の結果、具体的な評価方法については、今後、企画・運営委員会のワーキンググループ(私立大学等改革総合支援事業申請の中心となった大学)で検討することを確認し、資料2～資料4の中期計画関連議案は承認された。

#### 第2号議案 その他

##### 1) 令和2年度の事務局体制について

事務局（渡邊事務局長）より資料5の事務局体制の推移に基づき、平成25年度から本年度までの事務局体制、特に本年度は、コンソ雇用職員1名、各大学からの出向者4名（熊本大学2名、熊本県立大学1名、熊本学園大学1名）、補助金による派遣職員2名の計7名であることの説明があった。

また、資料6の収支予算書に基づき、本年度は私立大学等改革総合支援事業の予算措置された大学からの寄付金収入があったが、次年度以降は不確定であるので、コンソ雇用職員を継続していくのであれば、収入増あるいは支出減による収支バランスの検討が必要であることの説明があった。

これらを受けて、議長より、現在の出向者派遣大学においては引き続き継続しての派遣、また、他の大学においては新たに出向者派遣の検討をお願いしたい旨の依頼があった。

## 2) 「地域連携プラットフォーム」について

議長より、文科省が提唱している「地域連携プラットフォーム（仮称）」は地域の高等教育の将来像を地域で議論を進めるための場と理解しているが、それに大学コンソーシアム熊本を利用するという考えも含めて、審議願いたいとの説明があった。

これについて、次のような意見があった。

- ・コンソにより各大学の連携を深めてきた歴史もあり、今後活動内容の修正や県・市を積極的に取り組みながら地域連携プラットフォームにコンソを利用したらどうか。
- ・コンソは将来的に少子化による入学者不足という危機に私立大学が生き残るために国公立大学等の協力も得て、連携して熊本の若者をしっかり教育していこうという趣旨で立ち上げた組織であり、その趣旨からも2040年のグランドデザインはコンソを中心に考えていくべきだと考える。ただ、企業との連携が薄い面もあるので、県・市だけでなく産業界との連携を強化する部会を作ってもいいのではないか。

これらの審議を受けて議長より、熊本における地域の高等教育の将来像を議論する場として、「地域連携プラットフォーム（仮称）」として、大学コンソーシアム熊本を活用していくことを考えたいとの発言があった。

## 3) その他

### ①コンソーシアムにおける新たな事業提案について

議長より、今後、熊本県・熊本市からの支援も受けながら、新たに事業展開していく例として、COC+における6次産業化育成連絡会の事業の紹介があり、組織体制の見直しを含めた新たな活動の必要性が提案された。

### ②大学コンソーシアム熊本に顧問を置くことについて

議長より、コンソの設立当時の趣旨を理解し、必要に応じて助言をいただく方を顧問に置くことの必要性が述べられ、熊本保健科学大学の崎元理事長に顧問を委嘱したい旨の発言があり、次回の理事会で正式に提案することになった。

## 6 理事会報告

### 第1号報告 中期計画の進捗状況について

事務局より、資料7に基づき、中期計画の各取組の進捗状況について報告があった。

第2号報告 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

事務局より、資料8に基づき、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムのイベント別参加者数、機関別参加者数、収支内訳について報告があった。

7 閉 会

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は、署名押印する。

令和元年12月11日

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第25回理事会

代表理事（会長） 半 藤 英 明

監事 広 渡 純 子

監事 荒 木 啓 二 郎